



アースデイ 2021 秋のフェスティバル開催に向けて

「小さな集い」を各地で開きましょう！

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が人間の世界に広まってから、今年の12月で2年が経つことになりました。しかしながら、未だその終息は見えていません。とても厳しい状況下で様々な制約を受けながらも、未来を見すえ地に足をつけた活動を続けている方々、団体が多くいます。

へこたれず活動を持続する、そのような団体や個人を支え、つなげていきたいというのが、私たち「アースデイネット」の願いです。

今ここで、そんな私たちのつながりを生かし、活動の成果を示す場として、「アースデイ2021秋のフェスティバル（略称：秋フェス）」を企画いたします。

期間は、11月20日（土）～12月12日（日）。

初日のオープニング・イベントは、いこいの森パークセンターで。最終日の12月12日（日）のエンド・イベントをフレスポひばりヶ丘で、それぞれ開催します。

「小さな集い」を企画してください！

その間の11月21日（日）～12月11日（土）には、皆さんに各地で「小さなイベントや集まり」を企画していただき、アースデイの連携企画としてつなげていきたいと思っています。

各団体・グループや個人で、この期間にぜひ近くの人たちが楽しく集える「小さな集い」を企画してください。アースデイフェスティバルの企画として全体に紹介します。

これから例会をお持ちの会も多いと思います。それぞれの会でどんな企画ができるか、アースデイフェスティバルに参加できるかをぜひご検討ください。団体・個人が共同しての企画も歓迎します。

応募の締め切りは、10月10日（日）の第4回実行委員会までです。

9月12日（日）の第3回実行委員会に間に合うようでしたら、下記のような企画概要をお知らせください。締め切りは10月10日ですが、事前確認の必要があるので、できるだけ早めにご提出いただくと助かります。ご協力の程、よろしく願いいたします。

〈企画概要〉

- ①名称 ②主な内容（何を） ③実施主体（誰が） ④場所（どこで） ⑤日時（いつ）
⑥〈アースデイやSDGs〉との関連・つながり（ここをしっかりと書いてください。）」

アースデイ 2021 秋のフェスティバル 〈開催期間〉

11月							12月						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

11月20日：オープニング・イベント

12月12日：エンド・イベント

11月21日～12月11日：「小さな集い」期間

最近、「コロナ禍の後、Build Back Better する。」ということが言われています。
この語はもとは、「より良い復興」として、「災害の復旧・復興について発災前から準備し、災害リスク削減を開発施策に取り込むこと等」の意味でしたが、コロナ禍の未曾有の災害に瀕して、それを改善の契機と捉え、その後「単に前と同じ状態にするのではなく、同じ災害を起こさないためによりよい状態にする。社会生活全体を環境負荷が低く持続可能性が高いものにし、自然環境や生物多様性の保全だけでなく、原材料供給の循環性向上等の経済活動の持続可能性も高めながら、社会・経済復興を目指す」という意味で使われることが多くなっています。

例えば、私達が春のミニフェスを始めた今年4月のEarthDayの日には、国連事務総長から次の様なメッセージが出されています。
「COVID-19の影響はすぐそこにあり恐ろしいものですが、もうひとつの深刻な緊急事態が存在します。拡大している地球の環境危機です。」

〈お家SDGs〉 → 続けられる 〈お家SDGs〉 を見つけよう！

次に、ビルトバックベターするための最低限のSDGsの視点や考えなければならない問題・課題等を、前回説明した〈5つのP〉ごとに考えてみたいと思います。

実は、SDGsを「理解する」ということは、決して「SDGs物知り」になることではありません。

SDGsに関する情報や資料の多さには、あまり意味はありません。大事なことは、そこで示されている課題や「いつまで人類が他の生物と一緒に地球上で生き続けていられるか」という〈地球の危機〉に気付いたときに、生活の中で自分でできることを一つでも見つけて、何か始めよう・行動しようとする〈行動への関心・意欲〉であり、地球や人類が生き続けられるように心がけて行動しようとする〈態度〉なのです。

続けられる
〈お家SDGs〉を
見つけよう！

この表の視点や資料等も手掛かりにして、自分自身や家族・仲間とSDGsの目標の実現に向けた活動を見つけて、取りあえず始めてほしい。
もちろん「やり続けること」を見つけて、できればすばらしいが、違っていると思ったら、何度でもやり直せばいい。「〇よりはー」と考えて。
右端の欄の〇や●は一つの例だが、特に●は家族や仲間と一緒にやってみてほしいこと。もちろん、できることはもっとあるはず。

〈17目標のキーワード〉と〈5つのP〉		★問題・課題	★アースデイの視点
PEOPLE (人間) G1 貧困 G2 飢餓ゼロ・持続可能な農業 G3 健康と福祉 G4 質の高い教育 G5 ジェンダー平等 G6 安全な水とトイレ		1 貧困をなくす 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を推進しよう 6 安全な水とトイレを世界中に	★一番の問題点は、資源・環境・権利等が不均衡＝偏っていて格差があること。経済的な価値、社会的な権威、教育を受ける権利や技能習得の条件等も一部の国・地域・社会的階層・性別等に属する人々・集団に偏在している。 ★運動競技や音楽的表現等の個人の資質が大きい等の分野でも、練習環境・施設や利用できる資源等が偏在している。 ★歴史的背景や社会システム等に課題があると考えられる。 ★自分の周りで「これは偏っていないか？不公平ではないか？」という視点で、できごとや状態に敏感に反応するようにする。 ★「自分や自分の仲間のグループだけよければいい」と考えずに「どうすれば、皆が公平・同じ条件でできるよくなるか・取り組めるか」を考える。 ★(Think Globally, Act Locally) を心がけ、足元で何ができるか考える。
PLANET (地球) G12 持続可能な消費・生産 G13 気候変動への具体的対策 G14 海洋資源の持続可能な保全・利用 G15 陸上生態系の保護回復、持続可能な利用、生物多様性の損失防止		12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを増やそう 15 陸の豊かさを保ちまわそう	★緊急の課題は、人間が地球の資源を今のまま使い続けていけば、地球上では人間も生き物も住み続けることができなくなる。 ★気候変動によって世界中で大規模な災害が多発しているが、例えば大規模な森林火災では、人だけでなく多くの生物も命やすみかを失う等の被害が出ている。 ★陸上でも海洋でも、非常に多くの生物種が人間の活動によって死滅している。 ★解決のための取り組みの最大の課題は、国家や民族・地域等の間の危機意識の差や利害関係によって、地球全体としての合意形成が進まないこと。 ★地球温暖化に対しては、二酸化炭素等の温暖化物質を出さないように、個人・企業・行政・国家等のそれぞれの立場で最大限の努力をする必要がある。 ★「このプラゴミを捨てたらウミガメの命を縮めることになるかもしれない」というように、地球上で全ては繋がっているという意識をもって生活・行動する。
PROSPERTY (豊かさ) G7 クリーンなエネルギー G8 持続可能な経済成長・働きがい G9 持続可能な産業・技術革新 G10 国内・国家間の格差の是正 G11 持続可能でインクルーシブなまちづくり		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを	★目標実現には程遠く、感染症の猛威の前に解決の見通しが大幅に後退している。 ★持続可能性が高く近代的なエネルギーの開発や持続可能な産業化の促進等には国家や自治体レベルでの取り組みが必要で、政治的な動きやそこに個人が関与できる仕組みの創出や努力の積み重ねが大きな課題。 ★まちづくりへの関与として地域の公共性ある場所を使いやすくする仕組みを改善する等、個人や民間でも取り組める課題発掘や取り組みを努力する姿勢が重要。 ★多様な就労機会の創出と地域に必要な事業の促進が目的とされ、持続可能で活力ある地域社会の実現が目指されている「労働者協同組合法」(来年度施行)について理解する機会を設けたり、実際に起業してみたりする。
PEACE (平和) G16 平和でインクルーシブな社会や制度		16 平和と公正をすべての人に	★地球上の多くの場所で、国家や宗教・政治的権力の名の下に、法の秩序や子ども・女性の人権が踏みにじられ、個人の生命や生活が蹂躪され続けている。 ★政治的・制度的・宗教的な対立や駆け引きによって、国際的機関等でも問題を話し合いで解決することができずにいることが何より悲劇的な問題。 ★あらゆる種類の暴力や力による解決を認めず、毅然とした態度でNOと言う勇気をもつ努力をする。 ★排除ではなく共生の視点を持って、国籍や人種にかかわらず、人と人との繋がりを大切に、連携・協力は物事を進めるようにする。
PARTNERSHIP (パートナーシップ) G17 パートナーシップでの実現		17 パートナーシップで目標を達成しよう	

あなたの〈お家SDGs〉は？

- 海外で作られた商品を購入するときには、フェアトレードで製造・輸入されているかを基準に購入する。
◎話し合うとき等に、全員が交代で発言できるようにお互いに意識して取り組む。
- 使っていない部屋や場所の照明・冷暖房機等に気付いたときにこまめに消す。
◎庭やプランターに植物を植えて育て、そこに来る虫や生き物を観察する。
- 家庭や地域を住みやすくするために、自分ができることを工夫してやってみる。
◎「働きがいのある仕事や住みやすいまちに必要なものや条件」について、家族や仲間と話し合ったり実例を探したりする。
- 何か社会的に行動しようとするときに一緒にできる仲間はいないか探す。
◎他人と一緒に行動するとき、互いの考え方に違いがあることを意識して、違いを認め合いながら進めようとする。

↑あなたの〈お家SDGs〉を書き込んでください。



国連事務総長
アントニオ・グテレス氏



グreta・トゥーンベリさん

残暑お見舞い申し上げます。

人類にとっても炎暑ともいふべき毎日です。頻発する洪水、海洋中のプラスチック増加、土石流、森林火災と急速な砂漠化、食糧危機、格差貧困の拡大、加えて新型コロナウイルスが世界を覆っています。「いままでどおりにやり続ける」のは難しいと思います。地球環境を考えるだけでなく、環境破壊をやめさせるための「持続的な変革」が求められています。

2020年のアースデイフェスティバルは新型コロナウイルスの感染拡大で中止。時期や方法、考え方も大きく変化することになりました。今年春には、みんなの総意で「春のミニフェス」を企画。しかし後半企画は緊急事態宣言発令のため、やむなく中止しました。

そこで確認されたのは、地域に根付いている、またはこれから始める小さな集いを多様に組み合わせ、それぞれのやり方でつながる「分散型と連携」のスタイルです。加えてSNSなどのデジタルも組み合わせる新しいスタイルで、新しい人たちの参加も増えました。さらに、情報伝達・共有を大切にすすめていきます。

今まで開かれてきた年1回のアースデイフェスティバルは、事務局がお膳立てをし、参加団体が当日参加するというやり方でしたが、「秋のアースデイフェスティバル」は、長期間の企画になります。それぞれが役割分担し、全体の力で成功させる方向を目指していきます。

7月4日には「秋のアースデイフェスティバル」を成功させるために第1回実行委員会を開きました。8月1日には第2回実行委員会を開催し、開催時期と内容、態勢について検討しました。

秋のアースデイフェスティバルは11月20日～12月12日までの約1か月を「アースデイ月間」とし、各地で連続的に催しを行う予定です。「地球の今を考え、行動する多彩な企画」を市民の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

今まで参加することのなかった団体・個人や若い人たちにも呼びかけ、内容も充実してみなさんにご案内したいと思います。ご期待ください。



代表：川地 素齋
(かわじ もとえ)

伝言板

東京電力福島第一原発事故から10年 —被災地福島のいま—

講師：木村 真三氏 (放射線衛生学者・獨協医科大学准教授)

- 日 時：9月11日 (土) 14:00～16:30
 - 場 所：保谷駅前公民館集会室
 - 資料代他：300円 (高校生以下無料) ●定 員：30人 (要申し込み)
- お申し込み▶佐藤 TEL 090-2907-0551 (18:00～21:00) まで
「公民館市民企画事業」共催：放射能測定を考える会・西東京



アースデイネット on Webサイト

★Youtube・アースデイネット2020★

☆アースデイネットのYouTubeチャンネルです。更新します。皆様、チャンネル登録してください。



★タウン通信・ウェブ版★

☆地域情報紙『タウン通信』のアースデイネット紹介記事です。更新して頂きます。(441号：2021年4月21日発行・442号：5月5日発行)



★ゆめこらぼ・活動団体の機関誌★

☆〈西東京市市民協働推進センター・ゆめこらぼ〉の『活動団体の機関誌・環境』で紹介されているアースデイネットの情報紙等のPDFです。更新していきます。

